

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 46 号

第 46 週(11月12日～11月18日)

発行年月日:平成19年(2007年)11月22日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

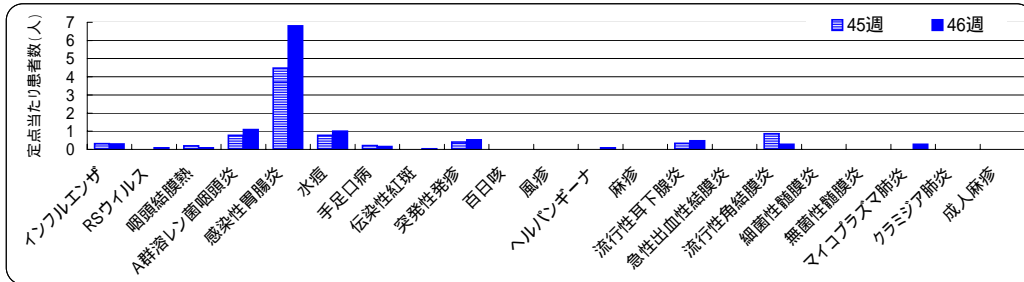
### 今週の感染症発生動向

#### 水痘は甲賀保健所管内で多く発生

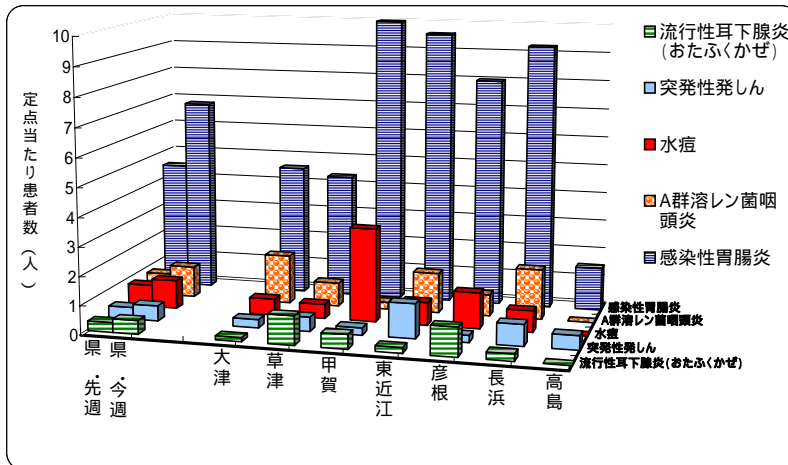
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数よりかなり多くなっています。今週増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱(プール熱)、手足口病および流行性角結膜炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で9名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名、四類感染症のレジオネラ症で1名ならびに五類感染症のアメーバ赤痢で1名および梅毒で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第46週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、水痘、突発性発疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は、甲賀、東近江、彦根および長浜で多くなっています。また、水痘は先週に引き続き甲賀で多くなっています。

#### 感染症のミニ知識 ～水痘～

水痘帯状疱疹ウイルスに感染することにより起こる疾患で、罹患年齢は1～5歳に多くほとんどは9歳以下となっています。流行時期は感染症発生動向調査によると、12～7月に多くなり8～11月には減少しています。また、予防には水痘ワクチンの接種(任意接種)が推奨されています。

- ・感染様式: 直接接触等によるヒト-ヒト感染
- ・潜伏期: 10～20日(通常14～16日)
- ・臨床症状: 軽度の発熱、全身倦怠感、発疹(全身性で掻痒感を伴う)
- ・治療: 外用薬の使用
- ・予防: 感染源(患者、水疱内容物、気道分泌物等)との接触を避ける、水痘ワクチンの接種

- ・合併症: 15歳以上および1歳以下でやや高くなります(健康な小児にはあまりみられません)。症状としては、皮膚の二次性細菌感染、脱水、肺炎、中枢神経合併症(無菌性髄膜炎、脳炎など種々)などがあります。
- ・学校保健法における取り扱い:  
すべての発疹が痂皮化するまでは出席停止となっています(病状により、伝染のおそれがない場合は除きます)。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (46週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (46週)	全国 (46週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	9	160	16,172	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	12	1	47
	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 2	422	<sup>(*)3</sup> 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	1	53	4,356	54	3,910
	パラチフス	0	1	18	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	1	50	2	70
	A型肝炎	0	1	136	21	316
	デング熱	0	1	82	0	57
	マラリア	0	1	48	0	61
	レジオネラ症	1	7	573	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	1	13	684	8	738
	ウイルス性肝炎	0	2	209	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	123	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	87	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	8	1,285	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	48	1	87
	梅毒	1	2	630	4	625
	破傷風	0	0	85	1	115
	急性脳炎	0	2	196	1	160

\*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分1件を含み増す。

\*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第46週(11/12~11/18) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 290例	三類感染症: 細菌性赤痢 9例	腸管出血性大腸菌感染症 47例	腸チフス 1例	四類感染症: A型肝炎 3例	四類感染症: 日本紅斑熱 5例	つつが虫病 19例	デング熱 1例	マラリア 1例	レジオネラ症 7例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	梅毒 10例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 16例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例	ウイルス性肝炎 4例	破傷風 2例
-------------	----------------	-----------------	-----------------	---------	----------------	-----------------	-----------	---------	---------	-----------	------------------	--------	-----------------------	-------------------	------------	--------

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第41~46週、10/8~11/18)

疾患名	定点当たり患者数 ( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少 )											
	41週		42週		43週		44週		45週		46週	
	(10/8~)	(10/15~)	(10/22~)	(10/29~)	(11/5~)	(11/12~)	42	43	44	45	46	
インフルエンザ	0	0.09	0.28	0.38	0.32	0.30						
RSウイルス感染症	0	0.06	0.03	0	0	0.09						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0.06	0.06	0.16	0.19	0.09						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0.28	0.56	0.72	0.78	1.09						
感染性胃腸炎	3.88	4.63	4.31	3.19	4.47	6.81						
水痘	0.44	0.09	0.72	0.63	0.78	1.00						
手足口病	0.09	0.22	0	0.22	0.22	0.16						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.13	0.06	0.03	0	0.03						
突発性発しん	0.31	0.47	0.28	0.53	0.41	0.53						
百日咳	0	0.06	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.06	0.09	0.19	0.16	0	0.09						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.22	0.19	0.44	0.34	0.47						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.43	0.71	0	0.43	0.86	0.29						
細菌性髄膜炎	0	0	0.29	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.71	0.14	0.14	0	0	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0.29	0.29	0.14	0	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0.14	0	0	0						

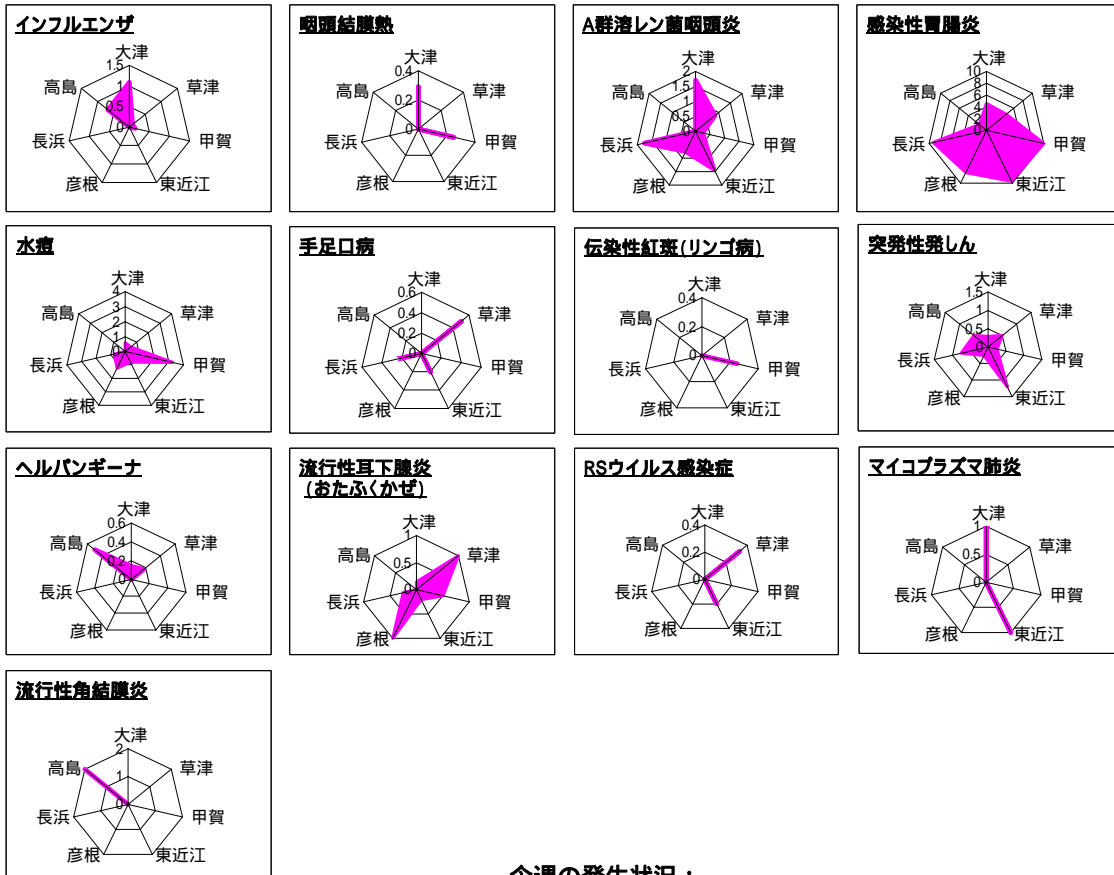
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第46週、11/12～11/18)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.30	1.09	0.10	0.14	0	0	0	0.67	
RSウイルス感染症	0.09	0	0.33	0	0.20	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0.29	0	0.25	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.09	1.71	0.83	0.25	1.40	0.75	1.75	0	
感染性胃腸炎	6.81	4.57	4.33	10.00	9.60	8.00	9.25	1.50	
水痘	1.00	0.57	0.50	3.25	0.80	1.25	0.75	0	
手足口病	0.16	0	0.50	0	0.20	0	0.25	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
突発性発しん	0.53	0.29	0.50	0.25	1.20	0.25	0.75	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.09	0.14	0.17	0	0	0	0	0.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.47	0.14	1.00	0.50	0.20	1.00	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	0	0	0	0	2.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	1.00	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 1 2 3 4 5 6 7

定点当たり患者数(人)

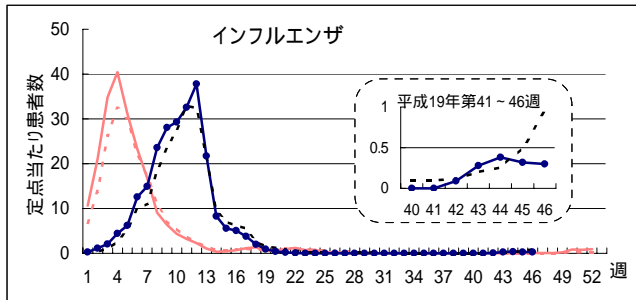
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

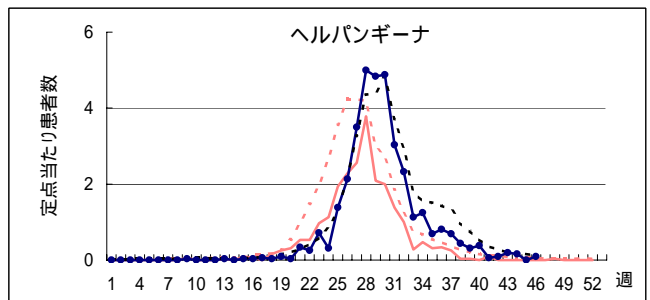
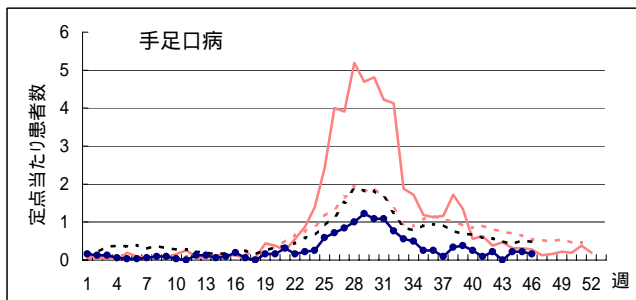
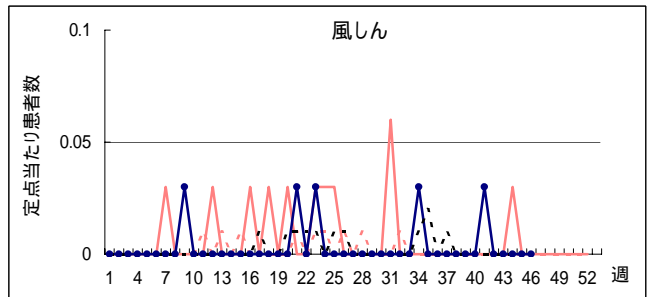
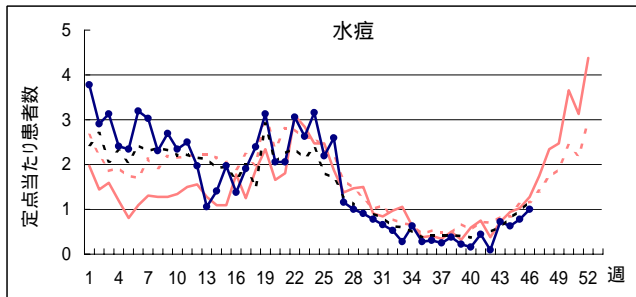
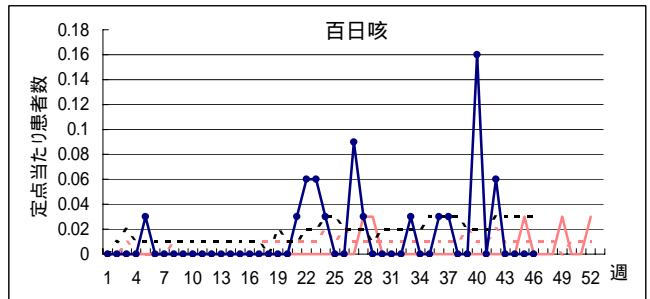
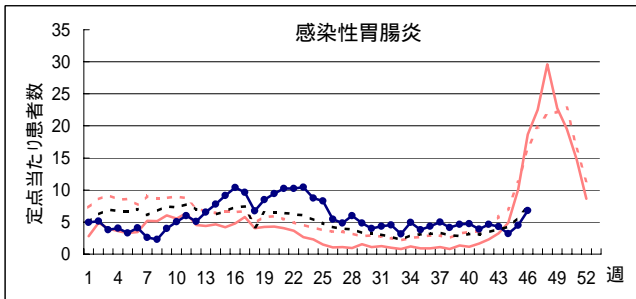
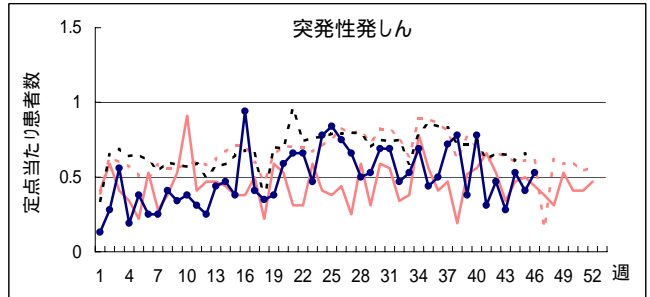
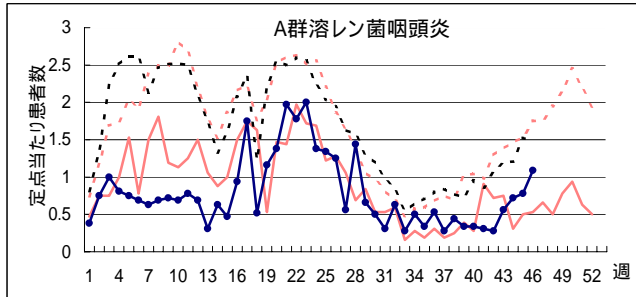
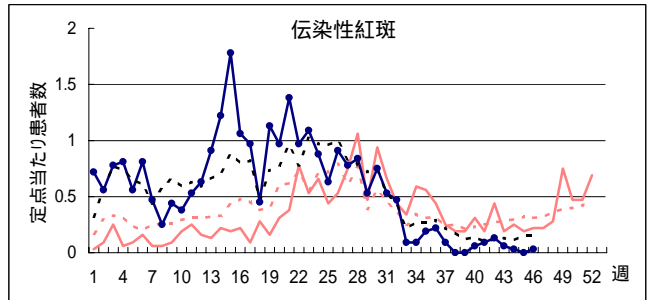
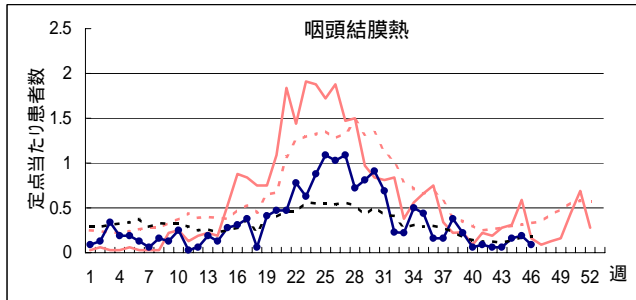
インフルエンザ-----県全体では先週とほぼ同様の発生状況ですが、大津でやや多くなっています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎-----大津で急増し、東近江および長浜では先週に引き続きやや多くなっています。  
 感染性胃腸炎-----すべての保健所管内で先週より増加しています。特に、彦根および長浜では急増し先週のほぼ2倍の報告数となっています。  
 水痘-----彦根で先週よりかなり多くなっています。また、甲賀では先週よりやや少なくなっていますが、定点当たり患者数は3.25と多い状態が続いています。年齢別の発生状況は1～5歳で全体の75%を占めており、保育園等における感染予防についての注意が必要です。

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第46週、H19.1.1～H19.11.18)



H18 { 滋賀 (solid red line)  
全国 (dotted red line)

H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)  
全国 (dotted black line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第46週、H19.1.1～H19.11.18)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●—●—  
     全国 - - - - -

